

政策整理番号 14

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部産業人材育成課	関係部課室	産業経済部研究開発推進課
------	-----	-------	--------------	-------	--------------

政策番号	2 - 4 - 3	政策名	新しい時代を担う産業人の育成
------	-----------	-----	----------------

施策番号	2	施策名	製造業等の発展を担う人材の育成
------	---	-----	-----------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【政策評価指標達成状況から】有効
 ・指標名:技能検定合格者数(累計) 達成度 A
 ・技能検定合格者数は毎年度1,200人前後で推移してきたが平成16年度に受験資格の緩和措置があり合格者数が増加している。

【県民満足度(政策)の推移から】課題有
 ・県民満足度は、50点と「やや不満」を示しており、政策に対する施策の効果を確認することはできない。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね有効
 ・平成16年事業所・企業統計調査では、県内の事業所数は103,480で前回から6.4%の減少で、従業者数も934,680人で前回から6.2%の減少となっているが、政策は質の向上を求めるものであり、施策は概ね有効と判断する。

【総括】
 ・県民満足度は、50点と低調であるが、労働者の職業能力開発の向上を表す技能検定の合格者数が堅調に推移していることから、概ね有効と判断する。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	公共職業訓練推進事業(再掲)	6		
2	主	企業における職業能力開発促進事業(再掲)	7		
3	主	研修事業	8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号,4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

【国,市町村,民間団体との役割分担】適切
 ・(国)第7次職業能力開発計画に基づく各種施策の推進。
 ・(県)国の計画に基づき、県職業能力開発計画を策定し、県立高等技術専門学校で職業訓練を実施するほか事業主等の行う認定職業訓練を支援している。
 ・(市町村)該当なし
 ・(民間団体)県職業能力開発協会他の関係団体が上記以外の職業訓練を支援。
 ・本施策に係る事業群は、上記役割に沿って設定・実施されており、県の関与は適切である。

【施策目的を踏まえた事業か】適切
 ・製造業等の発展を担う人材の育成のためには、労働者自らの職業能力の向上を図ることが必要であり、新たな技能・技術の習得や向上のため企業の職業訓練を支援することは適切である。

【事業間で重複や矛盾がないか】概ね適切
 ・訓練の目的や対象者に応じた事業を設定しており、概ね適切である。

【社会経済情勢に適応した事業か】概ね適切
 ・労働者に求められる技能・技術は多様化・高度化してきており、それらのニーズに応じたコースを設定していることから、概ね適切である。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性)概ね適切
 ・施策重視度は72.5点とある程度高く、満足度は50点となっており、かい離度が22.5と高くなっていることから、各事業の推進は必要である。

【総括】
 ・施策の目的、県の役割分担、事業体系、社会経済情勢、県民満足度調査の推移から総合的に判断して、本施策の事業は概ね適切であると判断する。

評価シート(B)

政策整理番号 14

施策番号 2 施策名 製造業等の発展を担う人材の育成

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

【施策満足度から】 課題有
 ・施策満足度が50点と低いため、施策の効果を確認することはできない。

【政策評価指標達成状況から】 有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋
 ・平成16年度に引き続き受験者数が多く、目標を達成できた。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 課題有
 ・平成16年事業所・企業統計調査では、県内の事業所数は103,480で前回から6.4%の減少、従業員数も934,680人で前回から6.2%の減少と減少傾向にある。

【業績指標推移から】 概ね有効
 ・職業訓練の受講者数は若干減少しているものの、工業分野の各種研修受講者数は増加しており、概ね有効と判断できる。

【成果指標推移から】 概ね有効
 ・公共施設の職業訓練修了者数は若干減少しているものの、製造品の出荷額は微増しており、概ね有効と判断できる。

【総括】
 ・施策満足度は50点と低調であるが、政策評価指標は達成しており、また業績指標推移でもほぼ堅調に推移しており、概ね有効と判断できる。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】 概ね効率的
 ・業績指標、成果指標ともほぼ堅調に推移しているものの、施策満足度は高くないので、現時点では効率的とは認められない。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】 課題有
 ・業績指標はほぼ堅調に推移しているものの、製造業に係る事業所数、従業員数とも減少しており、現時点では効率的とは認められない。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】 概ね効率的
 ・事業費が減少する中で、業績を堅調に確保しており、概ね効率的と判断できる。

【総括】
 ・事業費が減少する中で業績指標、成果指標ともほぼ堅調に推移している。また施策満足度は高くないものの、政策評価指標が堅調に推移し目標を達成していることから、概ね効率的と判断できる。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・B-1 施策実現に向けた県の関与は適切であり、事業群の設定も概ね妥当である。
 ・B-2 施策満足度は高くないが、政策評価指標は達成しており、概ね有効と判断できる。
 ・B-3 事業費が減少している中で、業績、成果とも堅調である。施策満足度は高くないが、政策評価指標は堅調に推移し目標を達成しているため、概ね効率的と判断できる。
 ・以上から概ね適切と判断する。

政策整理番号 14

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部産業人材育成課	関係部課室	産業経済部研究開発推進課
------	-----	-------	--------------	-------	--------------

政策番号	2 - 4 - 3	政策名	新しい時代を担う産業人の育成
------	-----------	-----	----------------

施策番号	2	施策名	製造業等の発展を担う人材の育成
------	---	-----	-----------------

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量。「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は 3.5×10^{-2})		
1	公共職業訓練推進事業 【産業人材育成課】	428,983	職業能力開発を行い就職に意欲のある者	県立高等技術専門学校等において普通課程による職業訓練を実施した。	入校(受講)者数	355 491,486 7.2E-04	311 454,970 6.8E-04	314 428,983 7.3E-04
2	企業における職業能力開発促進事業 【産業人材育成課】	56,432	中小企業等に雇用されている者	事業主等の行う認定職業訓練が体系的、段階的に行われるよう支援する。	職業訓練受講者数	2,768 58,651 4.7E-02	2,803 56,813 4.9E-02	2,472 56,432 4.4E-02
3	研修事業 【研究開発推進課】	4,110	工業分野における専門技術者	工業分野における人材育成を支援するため、技術に関する各種研修を実施した。	受講者数	123 4,775 2.6E-02	154 4,030 3.8E-02	429 4,110 1.0E-01
4	[]							
5	[]							
6	[]							
7	[]							
8	[]							
9	[]							
10	[]							
	[]							
	[]							
	事業費合計	489,525						

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部産業人材育成課	関係部課室	産業経済部研究開発推進課
------	-----	-------	--------------	-------	--------------

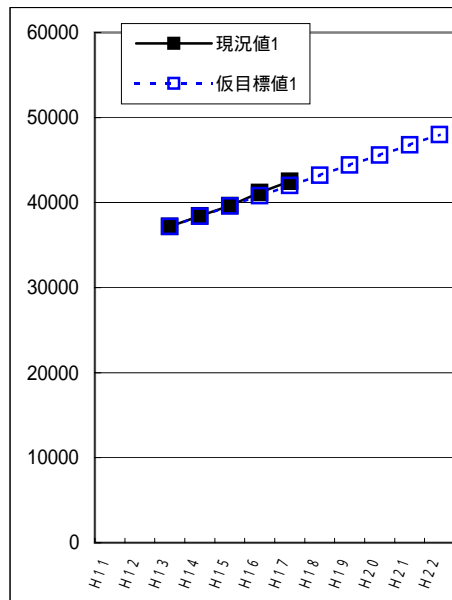
政策番号	2 - 4 - 3	政策名	新しい時代を担う産業人の育成
------	-----------	-----	----------------

施策番号	2	施策名	製造業等の発展を担う人材の育成
------	---	-----	-----------------

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位						
技能検定合格者数(累計)		人						
目標値	難易度	H17	42,000					
		H22	48,000					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H13			H13	H14	H15	H16	H17
現況値 (達成度判定値)	37,205			37,205	38,435	39,619	41,173	42,483
仮目標値				37,205	38,406	39,604	40,802	42,000
達成度				...	A	A	A	A

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・技能検定制度は、ものづくり労働者の技能を一定の基準により検定し、これを公証する国家検定制度であり、技能労働者の社会的評価の向上や技能労働者自身の能力開発の向上を図ることを目的として実施されているもので、「確かな技能の証し」として高く評価されていることから、人材育成を表す指標とした。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移	H16	H15	H14			
施策重視度(中央値、点)A	72.5	施策重視度 A	72.5	70	75.5			
施策満足度(中央値、点) B	50	施策満足度 B	50	50	50			
かい離 A-B	22.5	かい離 A-B	22.5	20	25.5			
満足度60点以上の回答者割合(%)	35.1	満足度60点以上の回答者割合	40.8	41.0	37.6			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度:A
 ・平成16年度に引き続き受験者数が多かったため、それに比例し合格者数も多くなり目標が達成できた。今後は受験者数の減少が見込まれ、目標達成が厳しくなる。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続

要検討

【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】
 ・技能検定制度は、労働者の技能を一定の基準により検定し、これを公証する国家検定制度である。労働者の技能と社会的評価の向上に重要な役割を果たしており、人材育成の指標として適当と考えられる。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 14

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部産業人材育成課	関係部課室	産業経済部研究開発推進課
政策番号	2 - 4 - 3	政策名	新しい時代を担う産業人の育成		
施策番号	2	施策名	製造業等の発展を担う人材の育成		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・少子化の影響で, 生産年齢人口は平成8年から, 労働力人口は平成10年から減少しているが, 団塊の世代が一斉に60歳定年を迎えることにより, 労働力人口減少の加速や, 熟練した技能が承継されことなく失われるという「2007年問題」が懸念されている。製造現場を中心に多くの企業が危機感を有しており, 職業キャリア形成のための施策が必要となっている。

【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・労働者に求められる職業能力が多様化, 高度化する中で, 的確なキャリア形成を推進するためには, ニーズに応じた多様な職業訓練, 教育訓練の場が求められている。このためニーズを踏まえた中小企業の職業能力開発の支援や求職者ニーズに対応した公共職業訓練の充実に取り組む必要がある。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

【方向性の理由】
 ・施策及び各事業は, 人材育成を図る機能を果たしており, 継続が求められる。

【次年度の方向性】
 ・できれば拡充する方向で継続する。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	公共職業訓練推進事業	428,983	維持	多様な職業訓練ニーズに対応した人材育成を図る観点から必要である。
2	主	企業における職業能力開発促進事業	56,432	維持	的確なキャリア形成支援のため, 事業主等の行う認定職業訓練の水準を維持する必要がある。
3	主	研修事業	4,110	維持	産業の高度化に対応した人材育成を図る観点から必要である。
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
		合計	489,525		